

原台の風

平成31年(令和元)年第7号(通算299号)
一佐西学校だより
令和元年10月28日発行
〔発行責任者〕
長崎県立佐世保西高等学校長 宅島 健司

ノーサイド

校長 宅島 健司

今、2019ラグビーワールドカップが盛大に日本で開催され、日本チームの初のベスト8という快挙に、大きな盛り上がりを見せています。私が車で聞いている、ユーミン(松任谷由美)のベストアルバム「sweet, bitter sweet」のDISC2、No.7に「ノーサイド」という曲があります。1984年全国高校ラグビー大会決勝、天理VS大分舞鶴をモチーフに創られた曲です。その試合は、試合終了間際に大分舞鶴がトライを決め、天理18対大分舞鶴16。決まれば、両校優勝となるゴールキックを主将のFB(フルバック)が左に外し、ノーサイドの笛が鳴ります。

「ノーサイド」の歌詞(抜粋)

肩を落として 土を払った
ゆるやかな冬の日の 黄昏に
彼はもう二度と かぐことのない風 深く吸った

何をゴールに決めて 何を犠牲にしたの 誰も知らず
歓声よりも長く 興奮よりも速く走ろうとしていた あなたを
少しでもわかりたいから

ノーサイドとは、ラグビーにおける試合終了を意味します。この言葉は、日本でしか使われていません。(他ではFull timeと表現されます。)試合が終われば自陣と敵陣のサイドはなくなるという意味です。ラグビーが紳士のスポーツで、試合が終われば仲間であり、お互いの健闘をたたえ合い、お互いをリスペクト(尊敬)する精神に由来しています。日本開催のワールドカップがこれだけ感動を呼んでいるのは、試合そのものの素晴らしさもさることながら、死闘を繰り広げた仲であっても、試合後はジャージを交換し、選手たちが様々な形で対戦相手に対する尊敬の念を表現しているところに、観戦者・TVの視聴者が心を奪われているからではないでしょうか。

人の人たるゆえんはここにあると思います。死力を尽くして闘った相手を尊重し、敬意を払う。人間にしかできない行為だと思います。そこには相手がいたからこそ、この試合を行うことができた、試合に全力を尽くしてくれてありがとうという感謝の念も含まれていると思います。

先月号に書きましたが、自己愛に気付かない人たちは、自分の料簡(りょうけん)の狭いことを棚上げして、人を誹謗中傷したり、攻撃したりしています。自分の利益や欲得しか見えていないのだと思います。自分と考えの違う人を傷つけたりする権利は誰にもありません。意見が違うからと言って、口角泡(こうかくあわ)を飛ばして攻撃的にものを言う人のいかに多いことか。

さて、ワールドカップ日本代表チームの対アイルランド戦で決勝トライを決めた福岡県出身WTB(ウィング)の福岡堅樹選手は、対スコットランド戦では2トライをあげ、勝利に貢献し、試合後、興奮気味に「この時のためにすべてを犠牲にしてきた。本当に出し切った。やり切った。歴史を変えられた」とコメントしています。

1995年第2回ワールドカップで、ニュージーランド(オールブラックス)に145対17(128点差)で負けていたチームが、ランクが上の2チームを破り、世界のベスト8に入りました。表現が軽すぎますが、並大抵の努力ではなかったと思います。そのスローガンは「ONE TEAM」です。

何を言いたいかわかりますね。3年生、君たちはこの3年間で大きく成長しました。この1年間でも、高総体、文化部の最後の大会、学習合宿、体育大会。それぞれで見違えるように成長しています。ただ、君たちを本当の意味で一人の人間として成長させることができるのは「受験」だと思っています。不合格になるかもしれないというリスクを背中に背負いながら、不安と闘いながら、目標達成のため日々学習に向かわなければならないからです。真正面から正々堂々と立ち向かってほしいと思います。君たちは、そして我々も「ONE TEAM」です。

B'zが「兵(つわもの)、走る」で歌っています。「ゴールはここじゃない まだ終わりじゃない 止むことのない歓声 今日を生きるため 明日を迎えるため 誇り高きスピードでTRY」

センター試験100日前集会

10月10日(木)に54回生のセンター試験100日前集会および受験説明会を行いました。100日前集会では、宅島校長先生と3学年主任の江口友先生からの激励の後、生徒を代表して5組の石田君、宮本さんが受験に向けての決意を述べました。その後クラスごとに肩を組み石田君の「絶対合格するぞ!」という掛け声で、54回生全員の士気が高まり、あと100日目標に向かってがんばりきれぬ雰囲気を作ることができました。

また、今年度は株式会社ベネッセコーポレーションから田川祐治先生をお招きし「自分を生かしきる人生を〜残り5ヶ月余り 執念・挑戦〜」という演題で講演をしていただきました。「受験では覚悟を決め執念を持って最後まで思い続ける人が勝つ、成功の反対は失敗ではなく挑戦しないことだ」と激励を受けました。さらに、「まだあと100日もある、目標に向けて佐世保西高で自分という原石を磨いて」という先生の熱のこもった言葉に、お礼の言葉を述べた6組の稲田君をはじめ、54回生全員が改めて気を引き締めて受験勉強に臨む決意をしました。

その後の受験説明会には150名の保護者の方々にご参加いただきました。お忙しい中ありがとうございました。これから、肉体的にも精神的にも厳しい時期を迎えます。学校、家庭、そして本人が、卒業まで心一つにして学習に取り組むことを誓い、モチベーションを維持し、新たな闘争心が湧いてくる集会になったと思います。本番の入試では、良い結果が出ることを期待しています。(進路指導部)



秋季球技大会

【男子の部】

サッカー 優勝 3-3
バレーボール 優勝 3-5、準優勝 2-5
卓球 優勝 2-4、準優勝 3-3

【女子の部】

ソフトボール 優勝 3-6、準優勝 3-5
バレーボール 優勝 2-1、準優勝 3-4 A
卓球 優勝 2-2、準優勝 1-3

台風の影響が心配されましたが、1日目は無事に球技大会を開催することができました。しかし、2日目は午後からの雨のため、屋外競技の決勝戦が卓球に変更になりました。3年生が多く上位に入っており、3年生の底力を感じました。この力を受験に活かしてくださいね!1・2年生の頑張りもすばらしいものでした。この頑張りを経験の生活や部活動に活かしてください。(生徒会)



《11月の行事予定》

2	(土)	3年進研マーク、1・2年進研記述	14	(木)	受験用個人写真撮影(3年)
3	(日)	3年進研マーク、第2回英検二次	19	(火)	校内マラソン大会
4	(月)	進研記述(2年)	20	(水)	校内マラソン大会予備日
5	(火)	校内読書週間(〜8日)	21	(木)	後期中間考査時間割発表、 性教育講和(1年)、DV防止講和(2年)
7	(木)	EUがあなたの町にやってくる(全学年)	23	(土)	コモンホール学習
8	(金)	県総文祭(開会式・アルカス佐世保)	24	(日)	コモンホール学習
9	(土)	3年大学別模試、コモンホール学習(〜10日)	28	(木)	後期中間考査(〜12月3日)
13	(水)	消費者教育(1年)			

長崎大学学部説明会・講義体験

10月15日(火)、1年生を対象に長崎大学の先生方(12名)をお招きし、学部説明会・講義体験を実施しました。各学部の特徴や、魅力などを資料を通して、分かりやすく説明していただきました。また、大学では、自立した生活に加えて、主体的に学び、研究する姿勢が肝心であること。将来の目標や、興味関心があるものに関して、努力を続けることができること。新しいものにチャレンジすること。などの講義で得る知識だけでなく、大学で学んでいく上で大切にしてほしいことを伝えてもらいました。



文系課題研究プロジェクト(2年文系)

10月10日(木)、2年生文系クラスは、文系課題研究プロジェクト(個人探究)が始まりました。55回生は、1年生の10月からグループでの探究活動「ふるさと創生大作戦」に取り組み、佐世保の活性化に向けて様々な実践を行ってきましたが、それを踏まえてこれからは、個人で自分の進路につながるような探究活動を進めていきます。そのスタートとして、今回は、大学3年生と4年生の文系に進んでいる先輩にきていただき、教育・文学・経済・



観光・地域学に関する話と、レポートや論文の書き方についてアドバイスをもらいました。これからは、チームのメンバーに頼ることもなく、自分自身で探究していく必要があるため、熱心に話を聞いていました。今後はリサーチクエスチョンを立て、課題解決のための実行策を考えるなど探究を進めます。大学生になったときにも、この探究を生かしていけるよう活動します。

理系課題研究プロジェクト(2年理系)

10月10日(木)の午後、大学や研究所と連携した理系課題研究プロジェクトを実施しました。このプロジェクトの目的は、九十九島の海等を活用したふるさと創生の実現を目指した取組を通して、生徒が主体的に課題を設定し、探究活動を行い、地方創生、自然環境との共存、持続可能な地域社会を創造していくことです。生徒にとって、科学的思考力を高めるとともに、自らの希望する進路選択を考える上で、たいへん貴重な機会となりました。

連携先と研究テーマ

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| (1) 長崎大学水産学部 | 【九十九島の海洋生物】 |
| (2) 佐賀大学海洋エネルギー研究センター | 【海洋エネルギー】 |
| (3) 長崎国際大学薬学部 | 【環境衛生、環境科学】 |
| (4) 長崎県環境保健研究センター | 【佐々川中流・下流の水質分析】 |
| (5) 長崎県窯業技術センター | 【干潟の土壌分析】 |



国体ソフトボール競技(少年男子) 準優勝!! 本校から3名が出場!!

9月29日(日)から10月1日(火)にかけて茨城県下妻市でソフトボール競技(少年男子)が開催されました。本校からは**3年清原一真(日宇中)さん、調大輔(日野中)さん、宮崎豊真(西海中)さん**が出場しました。初日の9月29日は1回戦が行われ、埼玉県との対戦でした。序盤はリードされるものの終盤に追いつき、タイブレーカーまでもつれましたが、5-2で勝利しました。翌日の2回戦は広島県と対戦し、2-0で勝利しました。最終日は準決勝で宮城県と対戦し、3-1で競り勝ち決勝戦へと駒を進めました。決勝戦は高知県と対戦し、3回表の攻撃で3点を先制しましたがその後中盤以降に逆転を許し、3-4で惜しくも負けてしまいました。しかし、ここまでチームが一つになり国体という舞台上で活躍した選手たちに大きな拍手を送りたいと思います。準優勝おめでとうございます!!

たくさん声援を頂きありがとうございました。

- (清原君) 初めての全国大会で全国のレベルを実感し、これからのソフトボール人生にいかしていきたいです。
(宮崎君) 高いレベルの選手とソフトボールをし、そこで学んだ経験を大学生活につなげていきたい。
(調君) レベルの高い選手たちと一緒にプレイできて、学ぶことが多かったのが今後にかしたい。



国体陸上競技出場!!

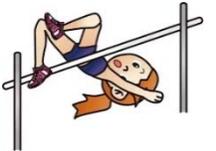
10月6日(日)に茨城県で開催された少年男子共通走高跳に**3年小島居勇太さん(大瀬戸中)**が出場し、10位という結果を残しています。
(小島居君) **1本1本の跳躍の大切さ、気持ちを強くもつ大切さが分かり、大学陸上へ向けてのいい課題ができました。**



主な試合などの結果

<陸上部>

- 令和元年度全九州高校体育大会第35回全九州高等学校新人陸上競技大会
女子走高跳 第7位 稲田 沙紀



<柔道部>

- 令和元年度佐世保地区高等学校新人柔道大会
- | | | |
|----------|-----|--------|
| 男子60kg級 | 第3位 | 河野 優空 |
| 男子66kg級 | 第2位 | 松尾 尚樹 |
| 男子66kg級 | 第3位 | 小川 浩平 |
| 男子66kg級 | 第3位 | 津志田 洋介 |
| 男子100kg級 | 第3位 | 岡 悠太 |
| 女子48kg級 | 第3位 | 佐々木 綾 |



<美術部>

- 令和元年全国地域安全運動における防犯ポスターコンクール
「見守りせんば運動」部門 優秀賞 井手 祥子

